

第33回インフルエンザ研究者交流の会シンポジウム 演題スケジュール(190528改正版)

6月7日(金) 第1日		シンポジウム講演(発表20分+質疑5分)			
時間	内容	(発表者氏名)	(所属)	(演題名)	座長
11:30~	受付				
12:30~12:35	開会式	一般講演(発表10分+質疑5分)			
12:35~13:50	一般講演(A) 基礎研究1/疫学	畠山 大	徳島文理大学 薬学部	インフルエンザウイルスPAのアセチル化標的リジンの変異によるエンドヌクレアーゼ活性およびRNA合成活性変化	高桑 弘樹(京都産業大学)
		田中 敏博	静岡厚生病院 小児科	治療前後の鼻汁中のウイルス検出状況から考察するパロキサビルマルボキシルの薬効	
		谷川 太一朗	農研機構 動物衛生研究部門	国内で分離された高病原性鳥インフルエンザウイルスに対するマガモの感受性	伊藤 正恵(長浜バイオ大学)
		峯 淳貴	農研機構 動物衛生研究部門	日本国内の養豚場における豚インフルエンザウイルスの流行状況	
		松崎 葉子	山形大学 医学部	2017-2018シーズンに分離されたC型インフルエンザウイルスの系統樹解析と抗原解析	
13:50~14:00	(休憩)				
14:00~15:40	シンポジウム1	古瀬 祐気	京都大学	インフルエンザ研究者交流の会のみなさんの、よりよい研究のために	中屋 隆明(京都府立医科大学)
		中村 昇太	大阪大学 微生物病研究所	感染症メタゲノム: 感染症発症時の超個体解析や網羅的病原体検出	
		大森 亮介	北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター	Dインフルエンザウイルス疫学解析における病原体遺伝子配列情報の活用	
		岡松 正敏	北海道大学大学院 獣医学研究院	ベトナムにおける鳥インフルエンザのサーベイランスと疾病制御に向けた取り組み	
15:40~15:50	(休憩)				
15:50~16:50	一般講演(B) ワクチン/抗体	嶋崎 典子	国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター	ワクチン株のスプリット化効率に関する物理化学的解析	板村 繁之(国立感染症研究所)
		Manzoor Rashid	Research Center for Zoonosis Control, Hokkaido University	A novel mechanism underlying antiviral activity of an influenza virus M2-specific antibody	
		入江 崇	広島大学大学院 医系科学研究科	特異なセンダイウイルスクロームの単離とワクチンアジュバントとしての利用	高橋 和郎(国際医療福祉大学病院)
		小田切 崇	岩手医科大学 医学部	ポリミキシンB(PMB)を粘膜アジュバントに用いた経鼻不活化インフルエンザワクチンの効果の検討	
16:50~17:00	(休憩)				
17:00~18:00	一般講演(C) ワクチン/ インフルエンザ対策	山岸 義晃	大阪大学 医学部	我が国のインフルエンザ対策における抗インフルエンザウイルス薬/ワクチンについて	大道寺 智(京都府立医科大学)
		新開 大史	北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター	不活化インフルエンザウイルス全粒子ワクチンの非臨床試験	
		信澤 枝里	国立感染症研究所	細胞培養季節性インフルエンザワクチンの実用化への取り組み	奥野 良信(大阪健康安全基盤研究所)
		喜田 宏	北海道大学 人獣共通感染症リサーチセンター	パンデミックインフルエンザに備えて	
18:00~19:00	(移動など)				
19:00~21:00	意見交換会				

6月8日(土) 第2日		シンポジウム講演(発表20分+質疑5分)			
時間	内容	(発表者氏名)	(所属)	(演題名)	座長
8:15~	受付				
8:45~9:45	一般講演(D) 診断・検査/基礎研究2	田端 和仁	東京大学大学院 工学系研究科	デジタルアッセイによるインフルエンザウイルスの超高度検出	村上 晋(東京大学)
		中山 ももこ	農研機構 動物衛生研究部門	Nanoporeシーケンサーによるインフルエンザウイルスの全ゲノムシーケンス解析と診断への応用	高橋 忠伸(静岡県立大学)
		江原 靖人	神戸大学 人間発達環境学研究所	インフルエンザウイルスを捕捉するシリアル酸修飾3量体DNA	
		堺 立也	川崎医科大学 微生物学教室	インフルエンザウイルス運動の糖鎖依存性	高田 礼人(北海道大学)
		日尾野 隆大	産業技術総合研究所	A型インフルエンザウイルスHAおよびNA上の糖鎖付加制御機構の解析	
9:45~10:30	一般講演(E) 基礎研究3	山形 優太郎	京都大学 ウイルス・再生医学研究所	PB2発現細胞を用いたDインフルエンザウイルスのクローム培養	
		石田 大歩	東京大学大学院 農学生命科学研究科	D型インフルエンザウイルスのリバースジェネティクス法の開発	
		楊 子峰	中国 広州医科大学	Tree shrew as a new animal model to study the pathogenesis of avian influenza (H9N2) virus infection	西村 秀一(仙台医療センター)
10:30~10:40	一般講演(F) 基礎研究4	神木 春彦	東京大学大学院 農学生命科学研究科	シリアル酸ノックアウトMDCK細胞におけるインフルエンザウイルスの増殖	黒田 和道(日本大学)
		酒井 宏治	国立感染症研究所	変異型H3N2インフルエンザウイルスの生体内での膜蛋白質開裂機構の解明	
		坂口 剛正	広島大学大学院 医系科学研究科	オレイン酸カリウムによるインフルエンザウイルス不活化のメカニズム	
		廣瀬 亮平	京都府立医科大学大学院 医学研究科	季節性インフルエンザにおける腸管感染の可能性についての検討	大道寺 智(京都府立医科大学)
13:00~14:15	シンポジウム2	川口 敦史	筑波大学 医学医療系	インフルエンザウイルス感染による気道上皮組織特異的な炎症応答	
		一戸 猛志	東京大学 医学研究所	腸内細菌叢によるインフルエンザウイルス特異的な免疫応答の制御機構	
		野田 岳志	京都大学 ウイルス・再生医学研究所	インフルエンザウイルスのRNP複合体形成機構	渡邊 洋平(京都府立医科大学)
14:15~15:30	シンポジウム3	山吉 誠也	東京大学 医学研究所	インフルエンザウイルスのHAおよびNA蛋白質に対するヒトモノクローナル抗体の性状解析	
		高下 恵美	国立感染症研究所 インフルエンザウイルス研究センター	新規抗インフルエンザ薬パロキサビルに対する耐性株サーベイランス	
		熨斗 武志	塩野義製薬株式会社	インフルエンザ治療薬パロキサビルのマウス予防投与モデルにおける効果	鈴木 忠樹(国立感染症研究所)
15:30~15:40	一般講演(G) 治療(抗ウイルス薬)1	深尾 圭太	塩野義製薬株式会社	インフルエンザ治療薬パロキサビルのマウス遅延投与モデルにおける治療効果	渡邊 真治(国立感染症研究所)
		根本 学	JRA競走馬総合研究所	ゾフルーザ(パロキサビル マルボキシル)の馬インフルエンザに対する有効性	
		齋藤 玲子	新潟大学大学院 歯学部総合研究科	パロキサビル・マルボキシルの 臨床効果 とPA蛋白変異ウイルスの出現	
		市川 正孝	市川こどもクリニック	2018/2019インフルエンザシーズンにおけるパロキサビル耐性変異ウイルスの臨床的検討	本郷 誠治(山形大学)
16:50~18:05	一般演題(H) 治療(抗ウイルス薬)2	長田 秀和	新潟大学 ミャンマー感染症研究拠点	2018/19シーズンにおけるパロキサビル感受性低下変異A型インフルエンザウイルスの検出	村木 靖(岩手医科大学)
		川上 千春	横浜市衛生研究所 微生物検査研究課	横浜市における2018/19シーズンのインフルエンザ流行解析	
		廣津 伸夫	廣津医院	抗インフルエンザ薬使用時のインフルエンザ家族内伝播(速報)	
		税所 優	塩野義製薬株式会社	家族内感染における38x変異体の挙動に関する研究計画デザイン(案)	
		18:05~18:25	閉会式・総会		

6月9日(日) 第3日	
9:40~14:00	自由討論会